

## 平成29年度事業報告

### I 本 部

社会福祉法人 聖マリアの家

平成29年度は社会福祉法が改正し、社会も保育士に対しての注目が集まった年であった。これまで行ってきた職員給与に関しても常に働きやすい環境、待遇を考え、職員の意見を聴く機会を設け、すすめていった。

本会設立の精神に基づいて、職員一人一人が「愛」を持って利用者の意向を尊重し、総合的に福祉サービスが提供されるよう工夫し、個人の尊厳を保持し健やかに育成されるように努めた。利用者アンケートとともにホームページの掲載頻度を向上し、情報公開などで、より透明度の高い運営に努力した。

#### 1. 評議員会選任解任委員会の開催

回	開催年月日	審議内容
	平成30年3月6日(火)	評議員2名の候補者の選任について

#### 2. 定時評議員会の開催

回	開催年月日	審議内容
	平成29年6月21日(水)	第1号報告 平成28年度事業報告 第2号議案 平成28年度貸借対照表、収支計算書、財産目録の承認 第3号議案 評議員報酬規程の決議 第4号議案 役員報酬規程の決議 第5号議案 理事 及び 監事の選任 第6号議案 社会福祉充実計画の承認

平成30年1月17日(水) 評議員、理事、監事の意見交換会を行った。

#### 3. 理事会の開催

回	開催年月日	審議内容
1	平成29年5月31日(水)	第1号議案 平成28年度事業報告について 第2号議案 平成28年度決算について 第3号議案 定款細則の制定について 第4号議案 社会福祉充実計画について 第5号議案 評議員報酬規程の制定について 第6号議案 評議員会提出の役員について 第7号議案 評議員会開催について
2	平成29年6月29日(木)	第8号議案 理事長及び業務執行理事の選任について
3	平成29年9月25日(月)	第9号議案 聖マリア保育園拠点区分第1次資金収支補正予算 第10号議案 定款細則別表の追加制定について 第11号議案 苦情処理第三者委員の任命について 第12号議案 組織規程の改正 第13号議案 給与規則の改正
4	平成29年12月18日(月)	第14号議案 保育補助者雇上支援資金の借入について 第15号議案 平成29年度 聖マリア保育園拠点区分第2次補正予算について 第16号議案 評議員選任候補者の推薦について
5	平成30年3月22日(木)	第17号議案 平成29年度聖マリア拠点区分第3次収支補正予算 第18号議案 平成30年度事業計画 第19号議案 平成30年度聖マリア保育園拠点資金収支予算 第20号議案 聖マリア保育園給与規則の改正について 第21号議案 聖マリア保育園懲戒審査会規則の改正について

## 2. 運営協議会の開催

理事長、宮内常務理事(園長)、小田理事(副園長)による運営協議会を開催した。

4月、5月

理事長、山中業務執行理事、宮内理事(園長)、小田理事(副園長)による運営協議会を開催した。

6月、7月、9月、10月、11月、12月、1月、2月、3月

## 3. 規則の制定など

イ 定款細則を制定した。

ロ 給与規則を改正した。

ハ 聖マリア保育園懲戒審査会規則を改正した。

## II 聖マリア保育園

### ア こどもの処遇

#### 1. 園児数 定員 127名 (1日取扱い数 月平均 133名)

本年度保育実施児数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
0歳児	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
1歳児	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	264
2歳児	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
3歳児	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	300
4歳児	25	25	25	25	25	25	25	24	24	25	25	25	298
5歳児	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	300
計	133	133	133	133	133	133	133	132	132	133	133	133	1594

4歳児が10月に引っ越しのため退園、翌年1月に1名入園した。

#### 2. 開園時間、休園日

・開園時間は、午前7時から午後7時まで

・休園日は日曜、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)休園日数:72日

#### 3. 保育

・保育理念「あなたがいて私がいる」「豊かな心の根っこ育む」ことを念頭に乳幼児期に大切な重視すべき課題3つをあげ、子育てについて、子どもに無関心な保護者の問題、虐待、逆に過保護、甘やかしなどの多様な問題の解決について保護者に寄り添いながら、よりよい親子関係ができるように努力した。

課題 1 (愛)の形成(人に対する基本的信頼感の獲得)

2 基本的な生活習慣の形成

3 道徳性や社会性の芽生えとなる遊びなどを通じた子ども同士の体験活動の充実

#### 4. 保健

・「元気で明るい子」を目指し、一人ひとりの子どもに応じて健康と安全に留意するとともに、全体の子どもの健康を保持し、安全を守った。

・病気の早期発見、感染予防に努めた。

・行事「もちつき大会」は前週からインフルエンザ罹患が多く、早めに中止を伝え、平日保育の中で行った。

- ・ヒヤリハット対策からハード面の安全対策をはかり、事故防止に努めた。  
昨年度に続き、インフルエンザ、感染性胃腸炎に関しては行事前後で保健所に相談、  
行事を早めに延期決定し、保護者に一斉メールで状況を知らせた。  
次亜塩素酸による園舎内消毒は期間中、毎日行っている。
- ・身体的、精神的に快くすごせるよう環境を整えた。

### 5. 健康診断・災害訓練等

- ・乳児検診は園医により月2回、全園児検診は春と秋の年2回、耳鼻科(2歳児～5歳児)、歯科検診(4歳児、5歳児)は年1回行った。
- ・防災訓練(火災、地震、洪水想定)は、実施総合訓練と防犯訓練を実地した。

訓練名	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
火災	○			○	○					○			4
地震 火災		○	○			○	○2回		○		○	○	8
火災 洪水			○					○				○	3
防犯		○		○			○		○		○		5

※ 消防署と連携し、防災訓練を消防士にみてもらい、アドバイスを受けた。通報訓練、初期消火訓練を行った。

### 6. 食育

- ・健康な生活の基本としての「食を営む力」の育成に向け、その基礎を培うための活動を行った。
- ・旬のものを取り入れ、良質で安全な食材で調理した。
- ・業者と協力し、こどもたちの前で「魚の解体ショー」行事として実際にプロが色々な魚を捌く姿を見たり、魚の種類や部位についても説明をもらった。
- ・アレルギーによる食材制限のある園児の給食提供は、園と保護者が話し合い、個別対応した。
- ・日本の伝統料理が感じられる行事食の提供に努めた。

### 7. 行事

- ・四季、伝統行事を含め、園児と地域の子どもたちを対象とする行事を企画し、実行した。
- ・地域老人施設(介護老人保健施設エーデルワイス)訪問に加え、ふれあい館でのお年寄りとの交流も増やした。

訪問地/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
ふれあい館				4歳児			0.1.2 歳児		3.4歳児	5歳児		2.3歳児
エーデルワイス	4歳児	5歳児	3歳児	4歳児	5歳児	2歳児	3歳児	2歳児	1歳児	幼児	乳児	5歳児

### 8. 環境整備

- ・園舎の電気配線等の整備、工事を行った。  
(平成29年5月～平成30年3月21日(水))
- ・園庭の土壌から改良して、新たな芝生を植生した。

### 9. 特別保育事業

- ・0歳児保育特別対策事業、延長保育、障害児保育事業、アレルギー児に対する代替食を実施した。
- ・12月29日、30日、保護者の希望により29日8名、30日は予約があったが当日キャンセルとなり合計8名の園児について年末保育を行った。

## イ. 職員

### 1. 職員数

職員の状況

職名	平成29年4月1日の職員数			年間退職			年間採用			平成30年4月1日の職員数		
	正規	非常勤	未満6時間	正規	非常勤	未満6時間	正規	非常勤	未満6時間	正規	非常勤	未満6時間
園長	1									1		
副園長	1									1		
保育士	22	3	2	2(2)			1			19	3	2
保育助手			2					1			1	2
保健師	1									1		
調理員	6		1							6		1
事務員	1	2			1					1	1	
地域支援	1		2							1		2
嘱託医	3									3		

※臨時職員のうち、非常勤は6時間以上労務時間で雇い入れた時間給職員、また、保育助手は保育士免許のない時間給職員。 ( )は内、年度で就職・退職した数。  
正規保育士H30年1月より1名0歳児クラスリーダーが産休、育休に入り、保育主任が代わりに担任となった。

### 2. 会議

- ・全体会議を毎月1回行った。
- ・主任会議(13回)、献立会議(12回)、調理室会議・料理研究会(4回)、乳児カリキュラム会議(12回)、幼児カリキュラム会議(12回)、早番、延長ミーティング、ケース会議を行った。
- ・育児困難家庭への支援については家庭支援センター、保健センター、児童相談所などと連絡を取り合いながらより良い援助ができるよう図った。

### 3. 職員研修

- ・各部門の環境見直しを含め、保育施設、子ども認定園等の見学に積極的に参加し、気が付いた点を伝えあい、次の改修に向けて検討を重ねた。
- ・療育センターYWCAスタッフとの研修は年間通じて4回は前回AB/応用分析学の方法等事例を持ち、話し合いをして理解を深め、療育スタッフとの交流を広げている。
- ・外部新人研修を2回出席し、1回目は社会人マナー等、2回目はグループ討議等を行った。
- ・職員には自分達が学びたいと思う研修に一人一つは行く、という目標をもって外部研修に参加した。研修内容と回数 全体で非常勤保育士も希望がある場合は研修参加を認めた。

保育に関する研修(実技、発達、保護者対応)	95回	普通救命救急認定	1回
法人関係	11回	保健、衛生研修(アレルギー含む)	13回
危機管理事故防止	1回	パソコン研修	2回

全体で非常勤保育士も希望がある場合は研修参加を認め、年間で123回外部研修に参加した。前年度に比べ、20回以上参加が増えている。  
また、3名が幼児体育指導認定2級を取得した。  
この年より専門分野別リーダーができたので、これからどう研修を分担し、どう生かしていくか具体的に話し合い、来年度につなげていく。

### 4. 福利厚生

- ・東社協の退職共済制度および福利厚生制度に加入している。

### ウ. 保護者の支援(利用者支援状況)

- ・夕方、補食以降(18:01以降)の子どもが全体として減ったが、その分早朝保育の子どもが増える中、状況に応じた職員体制や保育内容等を整備し、子ども達が安定して過ごせるように対応した。
- ・法人便りを年1回、園だより、献立表月1回、クラスだよりを年4回発行した。

- ・保育、保健、調理と栄養についての家庭相談及び講座、保育への参加見学、保育園入所相談を行った。
- ・法人便りを年1回、園だより、献立表月1回、クラスだよりを年4回発行した。

- ・育児困難家庭への支援については家庭支援センター、保健センター、児童相談所など連絡を取り合いながらより良い援助ができるよう図った。
- ・要支援児の通う療育施設との交流や、ろう学校の見学、療育施設へ体験実習を行う中で保育園のやるべき部分と療育部門でのすり合わせをしながら一人一人に合わせた対応をできる範囲で行えるよう職員全体で情報を全体会議時に毎月伝えていった。
- ・ホームページが秋にリニューアルした。

## エ.地域への支援

- ・地域家庭支援室(すくすく広場)の年間総利用人数は 昨年度は延べ1561名の利用に対し1,070名の利用となった。その背景には、周囲の変化も大きく関係している。周囲の児童館の趣旨、方針が変わり、イベントもたくさん行うようになってきたこと。利用時間も長くなり、これまで園独自で行っていたイベントと同じものが出だしている。当園の子育て支援の在り方を振り返り、「なかなかたくさんの方の輪の中で過ごすことが難しくひきこもりがちな家庭やゆったりとした時間のなかでホッとできる場を作っていこうとすすめている。
- ・保育パートナー事業を次の通り行った。  
離乳食体験、子育て広場体験、園庭解放を行った。  
地域の親子に対する園行事への誘いをおこない、大勢の参加があった。  
園児と交流することで保育士の声の掛け方等、地域家庭の保護者と話ができる機会が増えている。
- ・地域子育て活動の協力として、地域児童館の誕生会に職員を派遣した。
- ・お年寄り、退園児童との交流を図った。
- ・保育士養成校学生14名、看護師養成校学生12名、特別支援教諭4名の実習指導を行った。  
中学生7名が授業の一環として職場体験をした。

## 保育園の年間主な行事

4月	入園のつどい 卒園生のつどい	進級式
5月	こどもの日お祝い会 親子ふれあいマリア会総会(父母会) こころの花束 園児耳鼻科健診	
6月	園児歯科検診 じゃがいも掘り	
7月	八ヶ岳園外宿保育(年長児) 夏祭り花火大会	
8月	かえるの会キャンプ(卒園児宿泊)	
9月	引き渡し訓練 運動会	
10月	共同募金(年長児)	
11月	七五三お祝い会 魚の解体ショー ふえずていばる	
12月	教会見学(年長児:神田教会) クリスマスお祝い会	
1月	子ども新年会 子ども劇場(年長児) もちつき大会(平日保育の中で実施)	
2月	生活発表会	
3月	ひなまつりお祝い会 卒園式 毎月防災訓練(うち洪水訓練の月は2回)	毎月誕生会

### Ⅲ 社会福祉充実計画(聖マリア保育園)

#### 1、社会福祉充実計画策定の経緯

- ① 平成29年5月24日監査が行われ、当法人の平成28年度決算が確定したことから、社会福祉法第七節の規定に従って社会福祉充実残額の算定を行ったところ、平成28年度末の社会福祉充実残額は、12,690千円であった。
- ② 上記の社会福祉充実残額を踏まえつつ、平成29年度からの5ヶ年間の社会福祉充実計画を検討した結果、当法人としては地域公益事業である聖マリア塾こども食事を実施することとし、平成29年5月30日に本計画案についての地域住民座談会を開催するとともに同日税理士による法定の手続き監査を実施し、同月31日理事会での決議を経て翌6月21日評議員会で承認され、計画が確定した。
- ③ 平成29年6月30日、平成29年度現況報告書・法人調査書等各種書類を添えて板橋区長宛て本計画の承認申請書を提出し、同年8月23日板橋区長から社会福祉充実計画承認通知書が手交された。

#### 2、聖マリア塾こども食事会(以下「ごはん塾」と略す。)の開催状況

開催日	平成29年11月 8日、同月22日 12月13日、同月27日 平成30年 1月10日、同月24日 2月14日、同月28日 3月14日、同月28日
開催時間	いずれも午後5時～8時
開催回数	10回
登録児童数	3名
参加児童数	延べ13名

#### 3、ごはん塾の運営にご協力を頂いている方々

登録講師	6名
スタッフ	7名

#### 4、保育園業務への影響及び事故等の有無

ごはん塾開催日のおよそ午後4時半ごろから5時にかけてスタッフや講師、利用児童等が集中して園を訪れてくるため、保育園児の引き取りに訪れる保護者との時間帯が一部重なり、円滑に業務を運営するための園職員への情報提供等の工夫が課題となった。  
ごはん塾開催による保育園児との事故や保育園施設に対する事故・損傷などのトラブルは生じなかった。

#### 5、児童及び関係者の安全対策

参加児童の帰路については、毎回、当該児童の自宅玄関まで、通常2名、やむを得ない場合でも1名のスタッフが必ず付き添って安全を確保した。  
また、不審者対策として防犯ライトを携行したほか、ランドセルを自宅に置いてくる、防犯笛付きの反転名札(裏返すと名前が見えなくなる)を着用することなどを徹底した。

また、ごはん塾の活動及び往復に伴う児童や講師・スタッフなどの従事者の予期しない傷害や当法人の損害賠償責任を補償するため、東京都社会福祉協議会が取り扱う行事保健(当日参加対応型)に加入した。

#### 6、保健衛生

30年度4月からの調理業務の開催に備えて、登録衛生検査所有研(有馬研究所)と契約して、児童及びスタッフ等の赤痢菌・サルモネラ・腸管出血性大腸菌O157の検査を開始した。

7、広報

ごはん塾に関するリーフレットを作成し、小学校4校・あいキッズ4団体・高島平健康福祉センター・志村・板橋両福祉事務所・板橋区役所各課・計画地域内の公立私立保育園等に配布ないしは据え置きを依頼した。

8、本事業と対外関係 説明会等

本事業の計画に当たり、平成29年5月30日聖マリア保育園の保護者会であるマリア会の役員を中心とする地域住民との座談会を開催し、計画案の説明を行うとともに、質疑応答意見交換を行った。

9、フードドライブの物資協力

板橋区社会福祉協議会が平成29年度からの新しい取り組みとしてフードドライブを実施することになり、ごはん塾に対しても平成29年12月22日に十分な量の物資が配給され、同年12月27日以降の食事会に活用された。

10、その他の活動

- ① 平成30年1月16日 板橋区社会福祉協議会で事業説明、質疑応答を行った。
- ② 平成30年2月15日 板橋区社会施設連絡会でスライドを用いて事業紹介した。